

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮崎県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	宮崎病院	2
-	延岡病院	3
-	日南病院	4
宮崎市	宮崎市立田野病院	5
日南市	日南市立中部病院	6
小林市	小林市立病院	7
日向市	日向市立東郷病院	8
串間市	市民病院	9
えびの市	市立病院	10
高原町	国保高原病院	11
都農町	都農町国民健康保険病院	12
椎葉村	椎葉村国民健康保険病院	13
美郷町	西郷病院	14
高千穂町	国保病院	15
日之影町	国保病院	16
五ヶ瀬町	国保病院	17

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮崎県
				市町村・組合名	
				病院名	宮崎病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	52,835 m ²	指定病院の状況	救臨が感災		
診療科数	22	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	486	75.6	64.6	62.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	42	68.3	67.5	70.9
感染症	7	-	-	-
計	535	74.0	64.1	62.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	11.3	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	1,104,069	
決算規模(千円)	554,089,542	
標準財政規模(千円)	321,059,189	
財政力指数	0.35313	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	111.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.5
修正医業収益(千円)	12,656,876

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,684,834			
1 経常収益	14,684,834			
(1) 医業収益	12,956,021			
入院収益	8,879,032			
外来収益	3,644,091			
診療収入計	12,523,123			
その他医業収益	432,898			
(うち他会計負担金)	299,145			
(2) 医業外収益	1,728,813			
(うち国・都道府県補助金)	33,343			
(うち他会計補助・負担金)	1,154,858			
(うち長期前受金戻入)	485,079			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,424,213			
2 経常費用	15,424,213			
(1) 医業費用	14,798,698			
職員給与費	6,679,973	51.6	55.7	49.1
材料費	4,199,489	32.4	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,703,546	20.9	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,491,904	11.5	11.0	12.7
減価償却費	994,042	7.7	9.0	8.4
経費	2,840,442	21.9	23.3	20.7
(うち委託料)	1,357,633	10.5	11.5	11.6
研究研修費	58,607			
資産減耗費	26,145			
(2) 医業外費用	625,515			
(うち支払利息)	33,750	0.3	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-739,379			
純損益	-739,379			
累積欠損金	535,175			
経常収支比率	95.2		97.7	98.8
医業収支比率	87.5		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	9.9		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	85.8		85.7	89.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	49,217,325
1 固定資産	30,952,829
(1) 有形固定資産	28,837,930
(2) 無形固定資産	699,024
(3) 投資その他の資産	1,415,875
2 流動資産	18,264,496
(1) 現金及び預金	3,778,809
(2) 未収金及び未収収益	4,857,788
(3) 貸倒引当金()	60,959
(4) 貯蔵品	209,783
3 繰延資産	-
負債合計	43,093,434
1 固定負債	23,571,469
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,178,573
(2) その他の企業債	2,350
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,070,274
(7) リース債務	320,272
2 流動負債	17,087,094
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,339,950
(2) その他の企業債	2,350
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	951,622
(6) リース債務	120,720
(7) 一時借入金	1,251,700
(8) 未払金及び未払費用	2,965,888
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,434,871
(1) 長期前受金	39,771,537
(2) 長期前受金収益化累計額()	37,336,666
資本合計	6,123,891
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-6,619,505
(1) 資本金剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-6,729,981
負債・資本合計	49,217,325
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,454,003	1,454,003
資本勘定繰入	279,070	279,070
計	1,733,073	1,733,073

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮崎県
				市町村・組合名	
				病院名	延岡病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,272 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
診療科数	23	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	406	75.2	69.1	71.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	410	74.4	68.5	71.3
平均在院日数（一般病床のみ）		12.3	12.5	13.3

設立団体の状況		
人口（人）	1,104,069	
決算規模（千円）	554,089,542	
標準財政規模（千円）	321,059,189	
財政力指数	0.35313	
経常収支比率（%）	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.0
	将来負担比率（%）	111.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	93.6
修正医業収益（千円）	10,602,101

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,283,049			
1 経常収益	12,283,049			
(1) 医業収益	10,893,903			
入院収益	7,844,344			
外来収益	2,640,536			
診療収入計	10,484,880			
その他医業収益	409,023			
(うち他会計負担金)	291,802			
(2) 医業外収益	1,389,146			
(うち国・都道府県補助金)	10,678			
(うち他会計補助・負担金)	729,347			
(うち長期前受金戻入)	628,879			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,074,133			
2 経常費用	12,074,133			
(1) 医業費用	11,326,573			
職員給与費	4,768,203	43.8	55.7	54.0
材料費	3,495,677	32.1	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,895,008	17.4	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,598,394	14.7	11.0	12.2
減価償却費	922,142	8.5	9.0	7.9
経費	2,068,544	19.0	23.3	19.2
(うち委託料)	1,007,659	9.2	11.5	9.3
研究研修費	47,045			
資産減耗費	24,962			
(2) 医業外費用	747,560			
(うち支払利息)	227,223	2.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	208,916			
純損益	208,916			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.7		97.7	98.8
医業収支比率	96.2		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	93.3		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	49,217,325
1 固定資産	30,952,829
(1) 有形固定資産	28,837,930
(2) 無形固定資産	699,024
(3) 投資その他の資産	1,415,875
2 流動資産	18,264,496
(1) 現金及び預金	3,778,809
(2) 未収金及び未収収益	4,857,788
(3) 貸倒引当金（ ）	60,959
(4) 貯蔵品	209,783
3 繰延資産	-
負債合計	43,093,434
1 固定負債	23,571,469
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,178,573
(2) その他の企業債	2,350
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,070,274
(7) リース債務	320,272
2 流動負債	17,087,094
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,339,950
(2) その他の企業債	2,350
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	951,622
(6) リース債務	120,720
(7) 一時借入金	1,251,700
(8) 未払金及び未払費用	2,965,888
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,434,871
(1) 長期前受金	39,771,537
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	37,336,666
資本合計	6,123,891
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-6,619,505
(1) 資本金剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-6,729,981
負債・資本合計	49,217,325
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,021,149	1,021,149
資本勘定繰入	774,437	774,437
計	1,795,586	1,795,586

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	23.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費（経常的経費）に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮崎県
				市町村・組合名	
				病院名	日南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,668 m ²	指定病院の状況	救臨感災地輪		
診療科数	20	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	277	81.3	61.3	65.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	281	80.2	60.6	65.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	15.0	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,104,069	
決算規模(千円)	554,089,542	
標準財政規模(千円)	321,059,189	
財政力指数	0.35313	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	111.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.7
修正医業収益(千円)	5,409,374

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,646,431			
1 経常収益	6,415,628			
(1) 医業収益	5,464,239			
入院収益	4,030,255			
外来収益	1,282,539			
診療収入計	5,312,794			
その他医業収益	151,445			
(うち他会計負担金)	54,865			
(2) 医業外収益	951,389			
(うち国・都道府県補助金)	7,933			
(うち他会計補助・負担金)	524,879			
(うち長期前受金戻入)	392,373			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	230,803			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,769,074			
2 経常費用	6,769,074			
(1) 医業費用	6,385,404			
職員給与費	3,033,021	55.5	55.7	59.8
材料費	1,276,892	23.4	24.7	19.0
(うち薬品費)	634,907	11.6	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	640,755	11.7	11.0	9.2
減価償却費	627,562	11.5	9.0	9.9
経費	1,409,499	25.8	23.3	27.7
(うち委託料)	745,756	13.6	11.5	12.4
研究研修費	22,907			
資産減耗費	15,523			
(2) 医業外費用	383,670			
(うち支払利息)	148,938	2.7	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-353,446			
純損益	-122,643			
累積欠損金	9,127,120			
経常収支比率	94.8		97.7	96.3
医業収支比率	85.6		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.6		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	8.7		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	86.2		85.7	83.5

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	49,217,325
1 固定資産	30,952,829
(1) 有形固定資産	28,837,930
(2) 無形固定資産	699,024
(3) 投資その他の資産	1,415,875
2 流動資産	18,264,496
(1) 現金及び預金	3,778,809
(2) 未収金及び未収収益	4,857,788
(3) 貸倒引当金()	60,959
(4) 貯蔵品	209,783
3 繰延資産	-
負債合計	43,093,434
1 固定負債	23,571,469
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,178,573
(2) その他の企業債	2,350
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,070,274
(7) リース債務	320,272
2 流動負債	17,087,094
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,339,950
(2) その他の企業債	2,350
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	951,622
(6) リース債務	120,720
(7) 一時借入金	1,251,700
(8) 未払金及び未払費用	2,965,888
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,434,871
(1) 長期前受金	39,771,537
(2) 長期前受金収益化累計額()	37,336,666
資本合計	6,123,891
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-6,619,505
(1) 資本金剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-6,729,981
負債・資本合計	49,217,325
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	579,744	579,744
資本勘定繰入	585,920	585,920
計	1,165,664	1,165,664

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	宮崎県
	市町村・組合名	宮崎市
	病院名	宮崎市立田野病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,129 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	42	88.9	79.9	81.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	88.9	79.9	81.8
平均在院日数(一般病床のみ)		20.1	19.8	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	401,138	
決算規模(千円)	163,312,091	
標準財政規模(千円)	88,466,269	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	40.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.4
修正医業収益(千円)	679,034

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,108,704			
1 経常収益	1,020,963			
(1) 医業収益	718,722			
入院収益	487,499			
外来収益	176,603			
診療収入計	664,102			
その他医業収益	54,620			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	302,241			
(うち国・都道府県補助金)	51			
(うち他会計補助・負担金)	81,857			
(うち長期前受金戻入)	2,972			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	87,741			
(うち他会計繰入金)	55,485			
総費用	1,050,268			
2 経常費用	1,046,553			
(1) 医業費用	726,923			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	60,544	8.4	9.0	12.9
経費	665,746	92.6	23.3	47.4
(うち委託料)	168,963	23.5	11.5	20.7
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	633	-	-	-
(2) 医業外費用	319,630			
(うち支払利息)	14,321	2.0	1.4	1.3
(3) 特別損失	3,715			
損益				
経常損益	-25,590			
純損益	58,436			
累積欠損金	1,213,063			
経常収支比率	97.6		97.7	96.7
医業収支比率	98.9		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	16.9		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	16.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	85.9		85.7	64.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,702,959
1 固定資産	1,454,675
(1) 有形固定資産	1,454,675
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	248,284
(1) 現金及び預金	102,690
(2) 未収金及び未収収益	145,639
(3) 貸倒引当金()	45
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,149,493
1 固定負債	1,024,111
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	711,507
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	300,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	12,604
2 流動負債	53,320
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,074
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	4,967
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,161
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	72,062
(1) 長期前受金	91,415
(2) 長期前受金収益化累計額()	19,353
資本合計	553,466
1 資本金	1,766,529
2 剰余金	-1,213,063
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,213,063
負債・資本合計	1,702,959
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	121,252	177,030
資本勘定繰入	17,083	45,466
計	138,335	222,496

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	168.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮崎県
				市町村・組合名	日南市
				病院名	日南市立中部病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	7,377 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	9	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	88	73.5	69.3	71.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	73.5	69.3	71.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	18.1	20.3

設立団体の状況		
人口(人)	54,090	
決算規模(千円)	27,574,868	
標準財政規模(千円)	14,833,521	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	76.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.6
修正医業収益(千円)	1,118,742

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,427,383			
1 経常収益	1,427,078			
(1) 医業収益	1,160,642			
入院収益	770,963			
外来収益	269,386			
診療収入計	1,040,349			
その他医業収益	120,293			
(うち他会計負担金)	41,900			
(2) 医業外収益	266,436			
(うち国・都道府県補助金)	2,514			
(うち他会計補助・負担金)	227,484			
(うち長期前受金戻入)	31,804			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	305			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,480,767			
2 経常費用	1,476,049			
(1) 医業費用	1,405,950			
職員給与費	992,882	85.5	55.7	72.6
材料費	103,995	9.0	24.7	15.8
(うち薬品費)	33,488	2.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	50,307	4.3	11.0	5.6
減価償却費	91,771	7.9	9.0	11.1
経費	210,561	18.1	23.3	31.9
(うち委託料)	64,099	5.5	11.5	13.0
研究研修費	2,072			
資産減耗費	4,669			
(2) 医業外費用	70,099			
(うち支払利息)	21,630	1.9	1.4	1.7
(3) 特別損失	4,718			
損益				
経常損益	-48,971			
純損益	-53,384			
累積欠損金	205,126			
経常収支比率	96.7		97.7	97.4
医業収支比率	82.6		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	23.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	18.9		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	78.4		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,069,735
1 固定資産	1,763,237
(1) 有形固定資産	1,762,644
(2) 無形固定資産	593
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	306,498
(1) 現金及び預金	123,498
(2) 未収金及び未収収益	168,579
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	14,421
3 繰延資産	-
負債合計	1,709,491
1 固定負債	1,296,471
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,224,471
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	72,000
(7) リース債務	-
2 流動負債	309,299
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	126,894
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,070
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	127,005
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	103,721
(1) 長期前受金	1,035,071
(2) 長期前受金収益化累計額()	931,350
資本合計	360,244
1 資本金	525,144
2 剰余金	-164,900
(1) 資本金剰余金	5,600
(2) 利益剰余金	-170,500
負債・資本合計	2,069,735
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	252,244	269,384
資本勘定繰入	74,043	30,000
計	326,287	299,384

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	宮崎県
	市町村・組合名	小林市
	病院名	小林市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,077 m ²	指定病院の状況	救臨感災地輪
診療科数	16	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	143	59.4	61.6	63.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	147	57.8	59.9	61.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	19.1	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	46,221	
決算規模(千円)	28,174,094	
標準財政規模(千円)	14,027,907	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	105.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.5
修正医業収益(千円)	1,893,434

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,409,019			
1 経常収益	2,390,498			
(1) 医業収益	2,014,870			
入院収益	1,395,782			
外来収益	421,963			
診療収入計	1,817,745			
その他医業収益	197,125			
(うち他会計負担金)	121,436			
(2) 医業外収益	375,628			
(うち国・都道府県補助金)	9,869			
(うち他会計補助・負担金)	208,382			
(うち長期前受金戻入)	114,805			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	18,521			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,527,949			
2 経常費用	2,527,949			
(1) 医業費用	2,411,620			
職員給与費	1,533,462	76.1	55.7	61.3
材料費	370,253	18.4	24.7	17.6
(うち薬品費)	221,163	11.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	144,362	7.2	11.0	8.2
減価償却費	185,347	9.2	9.0	10.2
経費	311,177	15.4	23.3	30.5
(うち委託料)	180,861	9.0	11.5	13.0
研究研修費	8,786			
資産減耗費	2,595			
(2) 医業外費用	116,329			
(うち支払利息)	53,655	2.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-137,451			
純損益	-118,930			
累積欠損金	1,406,398			
経常収支比率	94.6		97.7	96.5
医業収支比率	83.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	13.7		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	81.5		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,518,990
1 固定資産	3,965,284
(1) 有形固定資産	3,955,055
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	10,229
2 流動資産	553,706
(1) 現金及び預金	203,736
(2) 未収金及び未収収益	329,741
(3) 貸倒引当金()	4,600
(4) 貯蔵品	24,677
3 繰延資産	-
負債合計	5,162,103
1 固定負債	3,629,482
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,482,878
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	776,000
(6) 引当金	350,362
(7) リース債務	20,242
2 流動負債	442,648
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	124,125
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	63,000
(5) 引当金	90,680
(6) リース債務	4,188
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	152,480
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,089,973
(1) 長期前受金	2,413,036
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,323,063
資本合計	-643,113
1 資本金	643,584
2 剰余金	-1,286,697
(1) 資本剰余金	119,701
(2) 利益剰余金	-1,406,398
負債・資本合計	4,518,990
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	643,113
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	329,818	329,818
資本勘定繰入	57,176	58,176
計	386,994	387,994

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	69.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮崎県
				市町村・組合名	日向市
				病院名	日向市立東郷病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,228 m ²	指定病院の状況			
診療科数	4	看護配置	否		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	30	7.7	33.0	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	7.7	33.0	-
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	12.5	-

設立団体の状況		
人口(人)	61,761	
決算規模(千円)	31,700,671	
標準財政規模(千円)	15,558,623	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	71.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	19.5
修正医業収益(千円)	57,670

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	279,316			
1 経常収益	279,316			
(1) 医業収益	95,661			
入院収益	10,736			
外来収益	42,269			
診療収入計	53,005			
その他医業収益	42,656			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	183,655			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	179,613			
(うち長期前受金戻入)	1,009			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	295,779			
2 経常費用	295,779			
(1) 医業費用	295,779			
職員給与費	208,852	218.3	55.7	80.8
材料費	7,401	7.7	24.7	13.8
(うち薬品費)	5,787	6.0	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,608	1.7	11.0	4.9
減価償却費	8,964	9.4	9.0	12.9
経費	69,963	73.1	23.3	47.4
(うち委託料)	31,829	33.3	11.5	20.7
研究研修費	497			
資産減耗費	102			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-16,463			
純損益	-16,463			
累積欠損金	130,885			
経常収支比率	94.4		97.7	96.7
医業収支比率	32.3		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	77.9		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	227.5		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	77.9		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	20.9		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	220,878
1 固定資産	162,896
(1) 有形固定資産	162,553
(2) 無形固定資産	343
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	57,982
(1) 現金及び預金	5,759
(2) 未収金及び未収収益	6,266
(3) 貸倒引当金()	258
(4) 貯蔵品	3,313
3 繰延資産	-
負債合計	23,657
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	19,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	12,850
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,583
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,001
(1) 長期前受金	10,743
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,742
資本合計	197,221
1 資本金	285,090
2 剰余金	-87,869
(1) 資本剰余金	33,016
(2) 利益剰余金	-120,885
負債・資本合計	220,878
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	209,797	217,604
資本勘定繰入	203	203
計	210,000	217,807

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮崎県
				市町村・組合名	串間市
				病院名	市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,589 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	120	62.8	71.6	58.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	62.8	71.6	58.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	20.9	18.9

設立団体の状況		
人口(人)	18,779	
決算規模(千円)	13,587,017	
標準財政規模(千円)	6,489,880	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	45.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.5
修正医業収益(千円)	1,501,066

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,775,077			
1 経常収益	1,775,077			
(1) 医業収益	1,542,451			
入院収益	943,006			
外来収益	503,831			
診療収入計	1,446,837			
その他医業収益	95,614			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	232,626			
(うち国・都道府県補助金)	14,210			
(うち他会計補助・負担金)	139,396			
(うち長期前受金戻入)	45,865			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,888,257			
2 経常費用	1,887,289			
(1) 医業費用	1,776,764			
職員給与費	847,116	54.9	55.7	61.3
材料費	226,481	14.7	24.7	17.6
(うち薬品費)	111,857	7.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	114,624	7.4	11.0	8.2
減価償却費	121,252	7.9	9.0	10.2
経費	571,709	37.1	23.3	30.5
(うち委託料)	358,194	23.2	11.5	13.0
研究研修費	8,856			
資産減耗費	1,350			
(2) 医業外費用	110,525			
(うち支払利息)	42,543	2.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	968			
損益				
経常損益	-112,212			
純損益	-113,180			
累積欠損金	1,582,370			
経常収支比率	94.1		97.7	96.5
医業収支比率	86.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.2		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	84.5		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,809,396
1 固定資産	2,539,149
(1) 有形固定資産	2,501,579
(2) 無形固定資産	378
(3) 投資その他の資産	37,192
2 流動資産	270,247
(1) 現金及び預金	53,506
(2) 未収金及び未収収益	209,867
(3) 貸倒引当金()	555
(4) 貯蔵品	5,920
3 繰延資産	-
負債合計	3,491,800
1 固定負債	2,510,829
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,823,787
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	535,000
(6) 引当金	138,246
(7) リース債務	13,796
2 流動負債	657,966
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	146,295
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	65,000
(5) 引当金	55,630
(6) リース債務	8,056
(7) 一時借入金	280,000
(8) 未払金及び未払費用	101,786
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	323,005
(1) 長期前受金	1,124,792
(2) 長期前受金収益化累計額()	801,787
資本合計	-682,404
1 資本金	543,019
2 剰余金	-1,225,423
(1) 資本剰余金	356,947
(2) 利益剰余金	-1,582,370
負債・資本合計	2,809,396
不良債務	241,424
実質資金不足額	241,424
資金不足額()	682,404
資本不足額(繰延収益控除後)()	359,399
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	180,781	180,781
資本勘定繰入	64,219	64,219
計	245,000	245,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	241,424	15.7
平成30年度	65,293	4.1
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	102.6
健全化法上の資金不足額(千円)	241,424
健全化法上の資金不足比率(%)	15.6
地財法上の資金不足額(千円)	241,424
地財法上の資金不足比率(%)	15.6

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮崎県
				市町村・組合名	えびの市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	3,569 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	5	看護配置	15	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	62.4	65.3	63.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	62.4	65.3	63.9
平均在院日数(一般病床のみ)		29.0	28.0	26.7

設立団体の状況		
人口(人)	19,538	
決算規模(千円)	12,588,219	
標準財政規模(千円)	6,200,770	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.1
修正医業収益(千円)	550,157

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	798,897			
1 経常収益	798,897			
(1) 医業収益	609,486			
入院収益	271,218			
外来収益	260,156			
診療収入計	531,374			
その他医業収益	78,112			
(うち他会計負担金)	59,329			
(2) 医業外収益	189,411			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	181,660			
(うち長期前受金戻入)	4,744			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	860,125			
2 経常費用	860,125			
(1) 医業費用	832,667			
職員給与費	416,724	68.4	55.7	72.6
材料費	184,404	30.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	163,815	26.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,106	3.1	11.0	5.6
減価償却費	33,637	5.5	9.0	11.1
経費	196,525	32.2	23.3	31.9
(うち委託料)	71,456	11.7	11.5	13.0
研究研修費	576			
資産減耗費	801			
(2) 医業外費用	27,458			
(うち支払利息)	532	0.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-61,228			
純損益	-61,228			
累積欠損金	703,198			
経常収支比率	92.9		97.7	97.4
医業収支比率	73.2		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	30.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	39.5		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	30.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	64.9		85.7	74.2

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	758,089
1 固定資産	405,347
(1) 有形固定資産	404,819
(2) 無形固定資産	504
(3) 投資その他の資産	24
2 流動資産	352,742
(1) 現金及び預金	264,476
(2) 未収金及び未収収益	73,336
(3) 貸倒引当金()	147
(4) 貯蔵品	14,077
3 繰延資産	-
負債合計	408,475
1 固定負債	304,902
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,503
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	295,399
(7) リース債務	-
2 流動負債	68,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,945
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,493
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	28,794
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	35,129
(1) 長期前受金	100,169
(2) 長期前受金収益化累計額()	65,040
資本合計	349,614
1 資本金	1,034,084
2 剰余金	-684,470
(1) 資本剰余金	3,152
(2) 利益剰余金	-687,622
負債・資本合計	758,089
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	240,989	240,989
資本勘定繰入	11,408	9,908
計	252,397	250,897

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	115.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	宮崎県
	市町村・組合名	高原町
	病院名	国保高原病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,051 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	3	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	56	45.4	67.7	80.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	45.4	67.7	80.4
平均在院日数(一般病床のみ)		23.2	24.2	29.4

設立団体の状況		
人口(人)	9,300	
決算規模(千円)	7,803,056	
標準財政規模(千円)	3,279,962	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	63.4
修正医業収益(千円)	554,708

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,014,791			
1 経常収益	950,192			
(1) 医業収益	592,699			
入院収益	277,178			
外来収益	197,923			
診療収入計	475,101			
その他医業収益	117,598			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	357,493			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	332,280			
(うち長期前受金戻入)	21,143			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	64,599			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	912,304			
2 経常費用	912,304			
(1) 医業費用	874,749			
職員給与費	398,865	67.3	55.7	72.6
材料費	59,636	10.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	23,350	3.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,095	5.9	11.0	5.6
減価償却費	56,360	9.5	9.0	11.1
経費	355,104	59.9	23.3	31.9
(うち委託料)	102,425	17.3	11.5	13.0
研究研修費	3,918			
資産減耗費	866			
(2) 医業外費用	37,555			
(うち支払利息)	20,352	3.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	37,888			
純損益	102,487			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.2		97.7	97.4
医業収支比率	67.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	39.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	62.5		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	36.5		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	63.6		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,300,598
1 固定資産	1,180,235
(1) 有形固定資産	1,179,975
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	260
2 流動資産	120,363
(1) 現金及び預金	16,726
(2) 未収金及び未収収益	101,505
(3) 貸倒引当金()	5,312
(4) 貯蔵品	7,444
3 繰延資産	-
負債合計	1,075,190
1 固定負債	889,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	830,783
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	58,613
(7) リース債務	-
2 流動負債	125,875
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	53,391
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,264
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	38,220
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	59,919
(1) 長期前受金	372,463
(2) 長期前受金収益化累計額()	312,544
資本合計	225,408
1 資本金	32,012
2 剰余金	193,396
(1) 資本金剰余金	29,435
(2) 利益剰余金	163,961
負債・資本合計	1,300,598
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	170,271	370,271
資本勘定繰入	24,803	24,803
計	195,074	395,074

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	6,517	0.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮崎県
				市町村・組合名	都農町
				病院名	都農町国民健康保険病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	4,716 m ²	指定病院の状況	救	感	
診療科数	10	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	61	58.4	61.9	55.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	65	54.8	58.1	51.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	16.6	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	10,391	
決算規模(千円)	15,239,897	
標準財政規模(千円)	3,459,796	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.4
修正医業収益(千円)	584,930

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,177,414			
1 経常収益	842,371			
(1) 医業収益	622,784			
入院収益	327,987			
外来収益	181,460			
診療収入計	509,447			
その他医業収益	113,337			
(うち他会計負担金)	37,854			
(2) 医業外収益	219,587			
(うち国・都道府県補助金)	4,700			
(うち他会計補助・負担金)	97,572			
(うち長期前受金戻入)	102,033			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	335,043			
(うち他会計繰入金)	276,346			
総費用	1,159,925			
2 経常費用	883,579			
(1) 医業費用	855,374			
職員給与費	497,828	79.9	55.7	72.6
材料費	66,086	10.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	17,840	2.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,999	6.3	11.0	5.6
減価償却費	117,266	18.8	9.0	11.1
経費	172,446	27.7	23.3	31.9
(うち委託料)	91,863	14.8	11.5	13.0
研究研修費	1,033			
資産減耗費	715			
(2) 医業外費用	28,205			
(うち支払利息)	5,614	0.9	1.4	1.7
(3) 特別損失	276,346			
損益				
経常損益	-41,208			
純損益	17,489			
累積欠損金	346,858			
経常収支比率	95.3		97.7	97.4
医業収支比率	72.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	21.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	35.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	80.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,250,692
1 固定資産	1,853,325
(1) 有形固定資産	1,853,325
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	397,367
(1) 現金及び預金	305,574
(2) 未収金及び未収収益	86,042
(3) 貸倒引当金()	2,218
(4) 貯蔵品	7,969
3 繰延資産	-
負債合計	2,180,621
1 固定負債	1,810,539
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,615,785
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	194,754
(7) リース債務	-
2 流動負債	158,480
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	87,183
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,882
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	39,415
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	211,602
(1) 長期前受金	740,199
(2) 長期前受金収益化累計額()	528,597
資本合計	70,071
1 資本金	376,460
2 剰余金	-306,389
(1) 資本金剰余金	40,469
(2) 利益剰余金	-346,858
負債・資本合計	2,250,692
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	135,426	411,772
資本勘定繰入	52,124	102,124
計	187,550	513,896

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮崎県
				市町村・組合名	椎葉村
				病院名	椎葉村国民健康保険病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,173 m ²	指定病院の状況	救臨 へ		
診療科数	3	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	30	52.0	57.2	59.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	52.0	57.2	59.2
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	20.0	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,808	
決算規模(千円)	6,126,508	
標準財政規模(千円)	2,815,054	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	83.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.6
修正医業収益(千円)	329,839

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	482,502			
1 経常収益	482,502			
(1) 医業収益	366,133			
入院収益	140,774			
外来収益	167,066			
診療収入計	307,840			
その他医業収益	58,293			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	116,369			
(うち国・都道府県補助金)	1,252			
(うち他会計補助・負担金)	96,706			
(うち長期前受金戻入)	17,079			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	487,237			
2 経常費用	487,237			
(1) 医業費用	466,875			
職員給与費	290,446	79.3	55.7	80.8
材料費	88,333	24.1	24.7	13.8
(うち薬品費)	70,459	19.2	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,644	4.0	11.0	4.9
減価償却費	36,261	9.9	9.0	12.9
経費	50,933	13.9	23.3	47.4
(うち委託料)	23,771	6.5	11.5	20.7
研究研修費	822			
資産減耗費	80			
(2) 医業外費用	20,362			
(うち支払利息)	7,573	2.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-4,735			
純損益	-4,735			
累積欠損金	286,371			
経常収支比率	99.0		97.7	96.7
医業収支比率	78.4		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	27.6		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	36.3		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	27.6		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	71.7		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,128,657
1 固定資産	586,733
(1) 有形固定資産	586,733
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	541,924
(1) 現金及び預金	479,027
(2) 未収金及び未収収益	61,258
(3) 貸倒引当金()	247
(4) 貯蔵品	1,886
3 繰延資産	-
負債合計	333,503
1 固定負債	117,578
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	117,578
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	61,059
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,339
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,668
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,315
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	154,866
(1) 長期前受金	261,857
(2) 長期前受金収益化累計額()	106,991
資本合計	795,154
1 資本金	1,054,896
2 剰余金	-259,742
(1) 資本剰余金	26,629
(2) 利益剰余金	-286,371
負債・資本合計	1,128,657
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	143,949	133,000
資本勘定繰入	22,779	24,294
計	166,728	157,294

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	78.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮崎県
				市町村・組合名	美郷町
				病院名	西郷病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,783 m ²	指定病院の状況	救へ		
診療科数	4	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	29	69.1	69.7	73.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	29	69.1	69.7	73.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	18.8	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	5,480	
決算規模(千円)	7,840,744	
標準財政規模(千円)	4,623,084	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.4
修正医業収益(千円)	385,916

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	568,071			
1 経常収益	568,071			
(1) 医業収益	422,210			
入院収益	173,594			
外来収益	190,562			
診療収入計	364,156			
その他医業収益	58,054			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	145,861			
(うち国・都道府県補助金)	3,066			
(うち他会計補助・負担金)	132,206			
(うち長期前受金戻入)	9,319			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	603,224			
2 経常費用	603,224			
(1) 医業費用	581,150			
職員給与費	361,121	85.5	55.7	80.8
材料費	78,321	18.6	24.7	13.8
(うち薬品費)	52,446	12.4	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,607	4.9	11.0	4.9
減価償却費	41,455	9.8	9.0	12.9
経費	98,594	23.4	23.3	47.4
(うち委託料)	27,604	6.5	11.5	20.7
研究研修費	1,314			
資産減耗費	345			
(2) 医業外費用	22,074			
(うち支払利息)	5,031	1.2	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-35,153			
純損益	-35,153			
累積欠損金	75,353			
経常収支比率	94.2		97.7	96.7
医業収支比率	72.7		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	29.7		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	39.9		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	29.7		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	66.2		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,020,059
1 固定資産	480,930
(1) 有形固定資産	480,346
(2) 無形固定資産	224
(3) 投資その他の資産	360
2 流動資産	539,129
(1) 現金及び預金	461,769
(2) 未収金及び未収収益	75,113
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,247
3 繰延資産	-
負債合計	488,927
1 固定負債	247,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	247,159
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	114,388
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,890
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,682
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	63,298
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	127,380
(1) 長期前受金	240,062
(2) 長期前受金収益化累計額()	112,682
資本合計	531,132
1 資本金	597,985
2 剰余金	-66,853
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-66,853
負債・資本合計	1,020,059
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	168,500	168,500
資本勘定繰入	25,289	19,172
計	193,789	187,672

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮崎県
				市町村・組合名	高千穂町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,351 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	90.6	87.8	86.9
療養	60	79.2	67.4	64.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	84.9	77.6	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		21.0	21.0	21.0

設立団体の状況		
人口(人)	12,755	
決算規模(千円)	8,616,825	
標準財政規模(千円)	4,707,087	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,117,239			
1 経常収益	2,117,239			
(1) 医業収益	1,964,425			
入院収益	1,030,819			
外来収益	820,552			
診療収入計	1,851,371			
その他医業収益	113,054			
(うち他会計負担金)	58,000			
(2) 医業外収益	152,814			
(うち国・都道府県補助金)	3,179			
(うち他会計補助・負担金)	100,000			
(うち長期前受金戻入)	18,228			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,128,075			
2 経常費用	2,128,075			
(1) 医業費用	1,998,128			
職員給与費	933,823	47.5	55.7	61.3
材料費	285,314	14.5	24.7	17.6
(うち薬品費)	126,856	6.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	158,452	8.1	11.0	8.2
減価償却費	160,167	8.2	9.0	10.2
経費	614,359	31.3	23.3	30.5
(うち委託料)	197,139	10.0	11.5	13.0
研究研修費	3,002			
資産減耗費	1,463			
(2) 医業外費用	129,947			
(うち支払利息)	32,622	1.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-10,836			
純損益	-10,836			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.5		97.7	96.5
医業収支比率	98.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	92.1		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,035,492
1 固定資産	3,201,381
(1) 有形固定資産	3,140,436
(2) 無形固定資産	378
(3) 投資その他の資産	60,567
2 流動資産	834,111
(1) 現金及び預金	528,501
(2) 未収金及び未収収益	287,183
(3) 貸倒引当金()	325
(4) 貯蔵品	18,752
3 繰延資産	-
負債合計	2,113,578
1 固定負債	1,319,745
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,248,722
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	71,023
2 流動負債	333,178
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	154,424
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	66,062
(6) リース債務	20,116
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	87,190
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	460,655
(1) 長期前受金	996,595
(2) 長期前受金収益化累計額()	535,940
資本合計	1,921,914
1 資本金	709,587
2 剰余金	1,212,327
(1) 資本剰余金	283,291
(2) 利益剰余金	929,036
負債・資本合計	4,035,492
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.4
修正医業収益(千円)	1,906,425

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	234,071	158,000
資本勘定繰入	124,399	112,000
計	358,470	270,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮崎県
				市町村・組合名	日之影町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,378 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	3	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	45.4	51.8	47.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	45.4	51.8	47.1
平均在院日数（一般病床のみ）		25.5	24.8	23.6

設立団体の状況		
人口（人）	3,946	
決算規模（千円）	5,901,299	
標準財政規模（千円）	2,835,241	
財政力指数	0.16	
経常収支比率（%）	88.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.6
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	68.6
修正医業収益（千円）	394,915

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	607,014			
1 経常収益	607,014			
(1) 医業収益	427,876			
入院収益	163,822			
外来収益	206,251			
診療収入計	370,073			
その他医業収益	57,803			
(うち他会計負担金)	32,961			
(2) 医業外収益	179,138			
(うち国・都道府県補助金)	1,660			
(うち他会計補助・負担金)	171,829			
(うち長期前受金戻入)	3,248			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	602,065			
2 経常費用	601,841			
(1) 医業費用	575,815			
職員給与費	320,764	75.0	55.7	72.6
材料費	109,095	25.5	24.7	15.8
(うち薬品費)	97,574	22.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	11,521	2.7	11.0	5.6
減価償却費	36,807	8.6	9.0	11.1
経費	108,042	25.3	23.3	31.9
(うち委託料)	63,575	14.9	11.5	13.0
研究研修費	481			
資産減耗費	626			
(2) 医業外費用	26,026			
(うち支払利息)	4,922	1.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	224			
損益				
経常損益	5,173			
純損益	4,949			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.9		97.7	97.4
医業収支比率	74.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	33.7		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	47.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	33.7		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	66.8		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,114,647
1 固定資産	734,517
(1) 有形固定資産	714,976
(2) 無形固定資産	111
(3) 投資その他の資産	19,430
2 流動資産	380,130
(1) 現金及び預金	271,585
(2) 未収金及び未収収益	107,533
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	1,012
3 繰延資産	-
負債合計	476,120
1 固定負債	341,904
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	341,298
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	606
2 流動負債	81,171
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,968
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,477
(6) リース債務	2,075
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	27,482
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	53,045
(1) 長期前受金	120,358
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	67,313
資本合計	638,527
1 資本金	547,294
2 剰余金	91,233
(1) 資本金剰余金	1,633
(2) 利益剰余金	89,600
負債・資本合計	1,114,647
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	204,790	204,790
資本勘定繰入	36,454	12,995
計	241,244	217,785

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮崎県
				市町村・組合名	五ヶ瀬町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,771 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	36	56.4	61.8	60.9
療養	18	71.0	60.7	71.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	61.3	61.4	64.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	17.7	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	3,887	
決算規模(千円)	4,560,995	
標準財政規模(千円)	2,301,903	
財政力指数	0.14	
経常収支比率(%)	94.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	551,126			
1 経常収益	551,126			
(1) 医業収益	419,248			
入院収益	231,247			
外来収益	129,775			
診療収入計	361,022			
その他医業収益	58,226			
(うち他会計負担金)	37,500			
(2) 医業外収益	131,878			
(うち国・都道府県補助金)	1,622			
(うち他会計補助・負担金)	126,500			
(うち長期前受金戻入)	2,524			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	572,587			
2 経常費用	570,891			
(1) 医業費用	551,345			
職員給与費	282,249	67.3	55.7	72.6
材料費	36,295	8.7	24.7	15.8
(うち薬品費)	18,707	4.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,588	4.2	11.0	5.6
減価償却費	22,272	5.3	9.0	11.1
経費	209,462	50.0	23.3	31.9
(うち委託料)	59,502	14.2	11.5	13.0
研究研修費	613			
資産減耗費	454			
(2) 医業外費用	19,546			
(うち支払利息)	6,806	1.6	1.4	1.7
(3) 特別損失	1,696			
損益				
経常損益	-19,765			
純損益	-21,461			
累積欠損金	2,012			
経常収支比率	96.5		97.7	97.4
医業収支比率	76.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	29.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	39.1		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	29.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	67.8		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,138,924
1 固定資産	681,197
(1) 有形固定資産	680,326
(2) 無形固定資産	871
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	457,727
(1) 現金及び預金	376,021
(2) 未収金及び未収収益	73,881
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,825
3 繰延資産	-
負債合計	545,957
1 固定負債	394,094
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	394,094
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	94,335
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,129
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,085
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	22,121
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	57,528
(1) 長期前受金	111,626
(2) 長期前受金収益化累計額()	54,098
資本合計	592,967
1 資本金	248,796
2 剰余金	344,171
(1) 資本金剰余金	344,872
(2) 利益剰余金	-701
負債・資本合計	1,138,924
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.2
修正医業収益(千円)	381,748

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	164,000	164,000
資本勘定繰入	-	-
計	164,000	164,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。